

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会（第24期・第6回）議事録

1. 日時：令和2年9月28日（月）16：30～17：30

2. 会議形式：ビデオ会議

3. 出席者：岸本健雄（委員長）、寺北明久（副委員長）、深津武馬（幹事）、倉谷滋、
小路武彦、斎藤成也、武田洋幸、西弘嗣、西田宏記
欠席者：大隅典子

4. 議事：

（1）年次報告（今期3年間の総括も含む）提出の報告

前回分科会（本年1月24日）後に展開のあった下記の二点を書き込んだ。

①動物科学振興にむけての公開シンポジウム「動物科学の最前線：めくるめく多様性を科学する」について

- ・令和2年6月20日に開催予定として、第288回幹事会で承認を得たが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を中止した。
- ・開催可能な状況となった際に、再考して開催することとした。

②提言「国立自然史博物館設立の必要性」（第23期/平成28年5月17日発出）のフォローアップについて

- ・「マスタープラン2020」で、大型施設計画「国立沖縄自然史博物館の設立ー東・東南アジアの自然の解明とビッグデータ自然史科学の実現による人類の持続可能性への貢献ー」が重点大型研究計画（計画No.3）に採択された。
- ・沖縄県による「新沖縄発展戦略：新たな振興計画に向けた提言」（令和2年3月公表）では、「国立自然史博物館の誘致」は「新たな沖縄振興計画に必要な重要事項」に挙げられた。
- ・上記を受けて、令和2年7月21日には、一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会から玉城沖縄県知事に、要望書「国立沖縄自然史博物館設立への取組みについて（要望）」を手交した。

（2）次期への申し送り事項

分科会の設置提案書では従来の趣旨を継承して一貫性を維持するのに加え、下記の諸点を第25期への申し送り事項とした。

①動物科学の振興策としてシンポジウム「動物科学の最前線：めくるめく多様性を科学する」の開催を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止せざるをえなかったため、実施可能な状況になった際にあらためて計画する。

②基礎動物学の振興をはかるシンボルとして、「国立沖縄自然史博物館設立準備委員会」との連携を引き続き推し進める。

③生物科学学会連合との連携を維持する。